

経 独 バイオ支援企業 協定

10/5 (水) 大商・阪大・大阪府 研究情報など交換

大阪商工会議所、大阪大学、大阪府などは4日、ドイツ・バイエルン州のバイオ産業を支援する企業と連携を強化する協定を結んだ。府と同州は2008年からバイオ分野の情報交換などで交流してきたが、協定を機に経済交流団を定期的に送ることなどを検討する。

協定を結んだのは産学官のバイオ推進組織「大阪バイオ・ヘッドクォーター」(事務局は府バイオ

才振興課)と、バイオ・エム・バイオクラスタ振興会社(ミュンヘン)。同社はバイオ関連の情報を集約し、ベンチャー支援などに役立てている。

両者は地元の企業、大学、研究機関が連携相手を探しているときに相手を紹介したり、企業や研究成果の情報を交換したりする。府は企業提携や

共同研究に将来結びつけようと考えている。

大阪バイオ・ヘッドクォーターは大阪府北部を中心としたバイオ産業の集積を狙い、ベンチャー企業の支援、研究の事業化などに取り組んでいる。国際連携では08年、中国のバイオ企業団地の運営会社と覚書を結び、協力を進めている。